

サプライヤーとの話し合いを始める前に

持続可能な調達を進展させる上で、サプライヤーとの話し合いを行うことが重要となります。最初にサプライヤーに連絡を取る前に実施しておくべきことがいくつかあります。

1. 調達の目的とアプローチを理解する

サステナブル・コットンの調達は、展示会で良い生地見本を見つけてそれを注文するのと同じくらいシンプルにすることが可能です。または、あなたの会社の具体的なサステナビリティのニーズを満たす新たなサプライチェーンを構築するために、サプライヤーへの働きかけが必要になるかもしれません。

サステナブル・コットンを探し始める前に、あなたの会社のビジネスの調達目的（どのような種類のコットンをどの程度、いつまでに調達するか）をよく理解しておくこと、アプローチの戦略性を高めることができます。我々はここで「ポートフォリオ・アプローチ」を採用することをお勧めします。全てのケースに対応できる解決策はありません。さまざまな種類のサステナブル・コットンを調達することによって、優先事項を満たし、より効率的に目標に向かって進展することができます。

初めに、調達するコットンのうち、何%をサステナブル・コットンにし、いつまでに調達するかを決めていくことが必要となります。例えば、あなたの会社の異なる部門、ブランド、または親会社において、具体的な目標値はありますか？まだ目標値を持っていないのなら、今こそそれらを設定する時です。

2つ目として、取引をしているサプライヤー、そして四季を通じて対応している製品ラインで、サステナブル・コットンに切り替える、あるいは大量にサステナブル・コットンを採用できそうなところがありますか？このようなことから始められると良いでしょう。

2. どこから手を付けるかを定める

様々な形状とサイズでサステナブル・コットンが届きますが、これらは2つのカテゴリーに分類することができます。サプライヤーとの話し合いを始める前に、どのタイプを調達したいのか、または混合でもいいのかなどを理解しておく必要があります（推奨されるアプローチ）。

1. 品質の指定がなされたコットン:

製品にふさわしい品質を見つける: 品質の指定がなされたコットンはサプライチェーン全体を通して追跡がなされます。オーガニック・コットンは、品質が指定されたコットンとして分類がなされています。これは、農場/工場から最終製品まで繊維を追跡することができますという意味です。バイヤーは、製品の仕様に合った品質を選択し、サプライヤーから直接購入しています。

使用: 品質の指定がなされたコットンは、サプライチェーン全体を通して、サステナブルではないコットンから分離がされているため、あなたの会社の現在のシステムに簡単に統合することができます。最終製品にそのコットンが実際に含まれているため、製品にこの品質のコットンが使用されていると表示することも容易にできます。

認証: このタイプのコットンを使用するには、デューディリジェンスと認証が必要です。範囲証明書は、ある工場がその繊維の販売を承認されていることを示し、取引証明書はそのコットンと共にサプライチェーン内を移動し、そして最終証明書が工場から裁断縫製仕上げの工場に渡されます。

2. マスバランス・コットン:

マスバランス・コットンはBCIやCmiAなどの仕組みから出てきたものです。マスバランスを使用するプログラムでは、サステナブル・コットンと非サステナブル・コットンをサプライチェーンで分離する必要はありません。これは、これまでと同じコットンを調達できると同時に、より持続可能な綿花栽培に投資できることを意味します。このプログラムを支援することにより、あなたの会社がサステナブル・コットンの世界的な供給をさらに増やすことができます。

コットンのマス・バランスのプログラムを行うには、会員になることが必要となります。以下に一般的な手順を説明します。ニーズに合った適切なプログラムを選択をするために、持続可能な調達目標を設定することが役立ちます。

自社のコットンのベースラインを理解する: まず、どのぐらいの量のコットン（何トンぐらい）を自社で使用しているか確認します。それぞれのマス・バランスの仕組みにはカリキュレーターがあり、それを使用します。全てのカリキュレーターでは、自社の年間の生産デ

ータが必要となります（昨年度のもの）。それを(a) 製品タイプ別（男性用シャツ、寝具、etc.）と(b) 繊維含有率（コットンの含有率が何%か）をそれぞれに書き出します。この計算から割り出されたトータルの重量に応じて、プログラムの会費が決まります。

注記： この手順が組織内で既に実施されているかどうかを確認してください。

自社のトップ・サプライヤーを特定： マス・バランスを使用するコットンのプログラムに参加したら、次のステップは、サプライチェーンで最も多く取引をしているサプライヤーを特定することです。これには、サプライチェーンの可視性に応じて、エージェント、供給ルート、工場、さらには紡績業者が含まれます。これらの取引先は、持続可能な調達目標を達成するための重要なパートナーになります。

優先されるサプライヤーを決定： これらの主要なサプライヤーの中から、重要かつ良好な関係がある、もしくはあなたの会社が強い影響力を持っている（つまり、取引量またはブランド名が彼らにとって価値がある）候補者を選択します。これらのサプライヤーから始めてください。彼らはあなたの調達に関する優先事項を積極的にサポートしてくれる可能性が高いです。

サプライヤー・リストを確認： サプライヤーをこのように整理したのち、それぞれの団体でこれらのサプライヤーがすでにプログラムに登録されているか確認してください。一部の登録リストは無料で閲覧できますが、団体に加盟するまで利用できないものもあります。ただし、ほとんどの団体は、あなたの会社の優先サプライヤーのリストのうち、どのサプライヤーが既に登録しているか、確認するのを助けてくれます。この情報を基本に、サプライヤーに対して、製品に使われるコットンの供給元を切り替えるよう依頼します。サプライヤーは、サステナビリティ・プログラムの要求に応じて、マス・バランス生産物流管理の要件に従った発注書の調整を開始します。

3. 目標を設定し、そのアプローチを決定する

より多くのサステナブル・コットンの調達を始めようとする時、適切な基盤を設定することが重要です。まず始めに、次のことを考えてください：誰に関与してもらう必要があり、次にどのような手順を踏む必要があるでしょうか。

社内のステークホルダーの特定

全ての組織はそれぞれ異なります。しかし、一般的には、サステナブル・コットンの調達に関するプロセスを始めるための主要な役割は以下の通りです：

- デザイナー/バイヤー/生地バイヤー：デザイナーとバイヤーは生地を選ぶ立場なので、製品に使われる持続可能な繊維の選択肢を探る役割として適任です。彼らがビジネス目標と持続可能性の目標を理解しているかどうか、調達の成功を大きく左右します。
- 生産/調達：生産チームは、供給拠点と繋がりがあり、どのサプライヤーがサステナブル・コットンで取引する最善の相手かをアドバイスすることができます。仲介業

者を通じて調達することの多い小規模なブランドの場合、サービス・プロバイダーを必要とする可能性もあります。

- 品質/品質管理：品質の変更に関する決定がある場合は、品質管理チームを早い段階で関与させて、変更の原因に関わってもらい、新たな品質が現在のスタンダードを満たすことを確認します
- 財務：持続可能な調達に関連する追加費用については、財務からのサポートが必要です。
- マーケティング：このチームは、サステナビリティ活動をいつどのように消費者に伝えるかを考えるのに必要です。

どのスタンダードを選ぶか決定し、会員資格を取得する。

あなたの会社に合った適切な基準とアプローチを選択したら、サステナブル・コットンの使用に必要な条件が全て満たされていることを確認してください。例えば、会員資格があるコットンを加工しているサプライヤーが、サステナビリティ・プログラムの CoC（生産物流管理）の要件やその他の要件に従うことができることを確認してください。

コットンを含む製品の購入について文書化できるようにする

社内目標に対する実績を示したい場合、コットンを含む製品の持続可能な調達の文書化は不可欠となります。社内の文書化システムを確立する際に、どのデータ/手順が必要なのかを慎重に検討することが重要です。コットンを含む製品がどのサプライヤーから供給されているかを確認してください。これを行うことでスタンダードの発行団体（スキーム・オーナー）が要求するデューディリジェンスが可能になります。一部のスタンダードの発行団体（スキーム・オーナー）では証明書は不要であり、例えば BCI プログラムはオンライン検証ツールのベター・コットン・プラットフォームを備えているので、それをあなたの会社のビジネス・プロセスに統合する必要があります。

購入記録に関する会社のシステムを確認する

あなたの会社は、おそらく購買管理およびその記録のための一連のシステムを持っているでしょう。これらが見えるかどうか、またどのように使うかについて検討してください。例えば、レポートを作成する際に、従来のコットンの混合でなく、サステナブル・コットンの混合を入力することは可能でしょうか？ 既存のツールを調整して使用できる可能性もあります。例えば、一部の購買システムにはトラッキングができるモジュールがあります。

既存のシステムが使えるようにない場合は、チームおよび関連部門と協力して、どのように購買記録をつけていくべきかを検討してください。

サステナビリティ・スタンダードと認証方法に合った業界ツールを利用できるようにする

採用を決定したサステナビリティ・スタンダード、およびその認証方法に合った業界ツール（BCI のベター・コットン。プラットフォーム（Better Cotton Platform）など）を利用できるようにします。調達を支援する便利な業界ツールがあり、システムのカスタマイズも選択可能です。BCI のメンバーシップは小売業者とブランドには必須であり、メンバーになるとベター・コットンとしてコットンを含む製品を調達する際の、ベター・コットンの CoC（生産物流管理）を文書化するベター・コットン・プラットフォームにアクセスできます。このプラットフォーム上で、あなたの会社のアカウントにサプライヤーがそのクレジットである

「ベター・コットン・クレーム・ユニット : Better Cotton Claim Unit

(BCCU)」を登録します。ベター・コットン・プラットフォームは、ベター・コットンのCoC（生産物流管理）によって管理されており、それを使用するためにはあなたの会社のサプライヤーにも特定のカテゴリのメンバーシップを入手する必要がありますのでご注意ください。

多くのツールは、さまざまなコットンの団体の会員になるとアクセスすることができるようになり、ブランド内で正しく使用するために必須となっています。

※本ウェブサイトは、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて日本語への翻訳がなされています。